

## 再 評 価 書

事業名	朝日中央線街路事業	事業区分	街 路	室 名	都市基盤室
事業概要	工 期	H7年～H18年	全体事業費 (下段：当初)	2,397百万円(負担率：国55%：県：45%)	
	(下段：当初)	H7年～H14年		2,550百万円(負担率：国55%：県：45%)	
<b>事業目的及び内容</b>					
<p>本路線は、伊勢湾岸道路を起点とし、朝日町の中心市街地を縦貫し桑名都市計画道路桑部番磨線へ連絡する都市内幹線道路であり、第二名神自動車道みえ朝日インター及び北勢バイパスのアクセス道路として整備し、朝日町及び周辺地域のまちづくりに寄与するものであります。</p> <p>事業計画期間12年、全体事業費2,397百万円で計画しています。 事業概要 道路工750m</p>					
<b>事業主体の再評価結果</b>					
<p>1 再評価を行った理由 事業採択後、一定期間が経過し、なお継続中ですので三重県公共事業再評価実施要綱第2条に基づき再評価を行いました。</p>					
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み 平成7年度事業着手時には、測量設計を実施するとともに次年度の工事用地を買収しました。 平成10年度から工事に着手し平行して用地買収を行っています。 用地買収は平成14年度に完了しました。 工事は、平成17年度に完了予定です。</p>					
<p>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</p> <p>(1) 全体計画の変更 平成7年度に事業認可を受け整備を進めてきましたが、土地区画整理事業の計画が立ち上がったことから都市計画変更を行い、平成12年に事業認可を変更し、事業の期間を1年延ばして平成15年3月31日までとしました。その後、事業を進めてきましたが、地域への利便性の向上、環境対策等、一部設計の見直しを行い、当初予定していた以上に日数を要したため事業期間を平成18年3月31日まで延ばしました。</p> <p>(2) 周辺環境の変化 平成14年度末に第二名神みえ朝日インター、北勢バイパスが完成し、また、同時に道路事業で整備している四日市朝日線についても一部区間を除き、供用開始しました。平成16年度末には、四日市朝日線の残りの区間を供用開始する予定であります。</p> <p>(3) 財政状況の変化 公共事業を取り巻く財政状況が厳しい中、地域住民から早期整備が望まれていることからコスト削減を進め、整備促進に努めてまいります。</p>					

#### 4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等

##### 4 - 1 費用対効果分析

平成7年度事業採択時には費用対効果の分析を行っていないことから、今回が最初の費用対効果分析となっています。費用対効果分析の結果は、

走行時間短縮便益が 132 億円

走行費用減少便益が 23 億円

交通事故減少便益が 33 億円

総費用が 28 億円となり

費用対効果分析の結果、6.7 となりました。

##### 4 - 2 地元の意向

平成14年度末に第二名神みえ朝日インター、北勢バイパスが完成し、また、同時に道路事業で整備している四日市朝日線についても一部区間を除き、供用開始しました。平成16年度末には、四日市朝日線の残りの区間を供用開始する予定であることからアクセス道路として早急な整備が望まれています。

#### 5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

##### 5 - 1 コスト縮減

残土処理について、他の工事と工程調整を行うことにより土砂搬出先が近くなったため、その分コスト削減となりました。

##### 5 - 2 代替案

都市計画決定された路線であり、来年度完成予定です。

#### 再 評 価 の 経 緯

今回が最初の再評価になります。

#### 事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため当事業を継続したいと考えている。